

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすくら神戸湊川教室

保護者等数(児童数) 22名 回収数 21 割合 95%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1		3	最初の見学の記憶しかありません。	見学の時に見ていただいておりますが、更新月のご面談の際にも見ていただければと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1		3	普段の人数を知りません。	職員の配置数等、適切に行っておりますが、職員のご紹介等、送迎時やお便り等で継続して行ってまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19			2		バリアフリー対応ではない場所があるが、可能な限り配慮に努めております。死角になる場所や危険そうだと思う場所は、早めに要因を取り除くよう努めております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20			1		引き続き清潔できれいな空間、お子様が心地よく過ごせる環境作を保てるように心がけます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	2				面談時や日々の送迎でお会いした時、LINEでのやり取りの中で情報を共有し、お子様の成長に沿った支援ができるよう話合っております。引き続き継続してまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1		2	先生方と子について具体的な話を聞けたり、どんなところにアプローチし、支援がなされているのか見えるようにしてほしい。	ガイドラインに沿って、各項目に振り分け、且つ具体的に解りやすい支援計画を立てるように心掛けております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20			1		支援計画に沿った支援を行っております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19			2		同じタイトルのプログラムの場合でも、レベルを変えながらレクリエーションを行っております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8		1	13		現在行っておりませんが、必要に応じて検討してまいります。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1				契約時にご説明するようにしております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19		1	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14	3	3	1		困りごとやご要望があれば早急にお話を聞き対応するようにしております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	18	1	1	1		日頃から送迎時にお子様の状況についてはお話するようにしており、個別面談で改めて理解を深められるように努めております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	3	2			個別支援計画に関する面談は行っているが、その他必要に応じて送迎時やLINE、お電話等で必要に応じて対応するようにしております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2	7	6		今後検討してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	2	1	3		送迎時やお電話、LINE等いつでもご相談していただける体制は整え迅速に対応しておりますが、より気軽にご相談していただけるようコミュニケーションの向上に努めてまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	2	1			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	1		1		
非常 時等 の 対応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1		2		個人情報を含む書類にしましては鍵付き書庫にて保管し、個人の名前や個人情報がわかるメモも不要になれば必ずシュレッダーで処分しております。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	16		1	5		各種対応マニュアルはあり、訓練しているものもあるが、より頻度を上げて訓練をしたいと思っております。保護者様には説明を行っていないので、毎月のお便りでも職員が訓練したことや研修内容を伝えていくことも検討してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15		1	5		定期的に各種避難訓練等、実施しており予定表にも記載するようにしております。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20			1	いつも楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	19	2			いつもありがとうございます。息子はこぼんが大好きです！いつも先生方やお友達と会えるのを楽しみにしています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすさくら神戸湊川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	活動によっては戸外や空いた部屋も利用し、広々使用できるように、片付けるところを1か所にしてあります。机も折り畳み式を使用し状況に合わせてスペースの確保をしております。	曜日によってはスペースが狭くなるので、空間づくりの工夫をしております。スロープやクライミングの壁でケガをしないようにも心掛けております。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	1	適切な配置を行っております。お子様の状況に合わせて、職員配置を増やすように心掛けております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	全てがバリアフリーではないため、個別で歩行補助などを行っております。ケガがあったり事故に繋がらぬ所はできる限り早く対応するようにしております。また、絵カードでの流れを表示したり、児童にトイレなど使用ごとに終了掃除を行い、掃除は職員1人1人が気を付けて動いております。清潔で心地よく過ごせる空間や環境作りを心がけております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	こぼんはうすさくらのホームページ上にて毎年公表しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	現在社内にて必要に応じて、都度こぼん本部へ相談するようにしております。	今後第三者による外部評価も検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		各種研修の機会を定期的に設けるようにしております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	1	こぼんはうすさくら共通のアセスメントシートやツールを利用して適切に行っております。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	こぼんはうすさくら共通のアセスメントシートやツールを利用して適切に行っております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		面談で話した内容を職員間で共有しており、職員同士、報連相をしつつ支援計画に沿った支援が出来るように努めております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		毎月のプログラムを作る際に内容を話し合っております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		同じテーマのプログラムでも年齢や発達に合わせた支援を行っております。同じプログラム内容を複数回経験することで、お子様の状況に合わせて個別と集団活動を組み合わせるようにしているが、集団が難しいお子様も少しずつ集団へ移行できるようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼で1日の流れや細かな注意点などを確認し、途中で変更があれば都度確認と情報共有をしております。また、共有ノートや打ち合わせで重要なことをしっかりと伝え合っております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		朝礼で1日の振り返りを行い、良かった点、改善点、翌日の大まかな流れも話しております。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		日報で個々の様子を記録し、支援の検証や改善に繋げております。		
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	1	定期的にモニタリングを行い、保護者様や職員で共有を行っております。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	積極的に現場職員も含め、参画するようしております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3		必要に応じて迅速に対応できるように努めてまいります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1	現在該当児童なし。	必要に応じて適切な対応を行ってまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1	現在該当児童なし。	必要の際は適切な対応と体制を整えてまいります。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3				

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		いつでも連携できる体制は整えております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4	現在行っておりません。	スケジュールが合えば積極的に参加してまいりたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		日々の送迎時やLINEで困り事や新しく始めている事など、変化があれば連絡を取り合っております。教室の様子がより分かりやすいよう、写真を送るようにしており、送迎時や連絡簿、面談時のお返事も大切にしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	2	ご相談等があった際はすぐに日程を調整するようになっている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		面談の際には十分に時間を作り、お話しており、丁寧なご説明を心がけております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	職員間で共有後、助言を行っており、職員で連携をして保護者様に寄り添えるようにしております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		必要に応じて検討してまいります。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	ご相談等があった際はすぐに日程を調整するようにし、迅速に対応しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月教室だよりを発行している。また必要な情報や活動内容等、LINEでお写真なども交え、個別に発信もしております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		書類は鍵付き書庫にて保管し、PC等はパスワード管理をしております。不要な書類はシュレッダーをするようになっています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		言葉だけでなく、ジェスチャー、絵カードで表現するようになっている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		必要に応じて検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		毎月避難訓練を実施しており、各種マニュアルは教室内・相談室に設置し、いつでも確認出来る環境を整えております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		月に1回行っております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		事前にアセスメントシートや面談時に確認し、職員に共有しております。変更があった際も直ぐに共有するようになっています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	現在、指示書が必要な該当児童なし。必要であればご提出いただけるようになっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		日々の日報に記入し、その日出勤していない職員にも共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	虐待防止の研修を動画等様々なツールを利用して学び、その後話し合いの時間を設けております。研修は定期的に設けております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2	ご契約時にご説明するようになっていますが現在該当児童無し。	該当児童がいる際はご説明をし、了解を得た上で個別支援計画書に記載するようになっています。